

民意を反映する選挙制度実現 比例定数削減反対！ 運動情報

憲法会議 発行

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp
ホームページ <http://www.kenpoukaigi.gr.jp>

【憲法しんぶん速報版】

2013年4月10日

第392号 Tel 03-3261-9007
本号78号 Fax 03-3261-5453

「小選挙区制は廃止する以外にない」 穀田恵二議員が追及 衆院予算委員会

穀田恵二日本共産党衆議院議員は、4月9日開かれた衆議院予算委員会集中審議で、小選挙区制と政党助成金を取り上げ、安倍内閣を追及しました。この中で穀田議員は、自民党が4割そこそこの得票で8割近い議席を得、また「死票」が総得票数53%を占めることなど、小選挙区制がもつ民意を歪め、切り捨てる仕組みであるという根本的問題を指摘し、廃止する以外にないことを強調しました。また議員定数削減問題を取りあげ、日本の衆院定数が多いとはいえないことについて、世界の国々との比較でも、歴史的にみても人口が現在の半数であった普通選挙実施時（1925年）に466人で出発したことから明らかにしました。小選挙区制を「0増5減」で温存する一方で、民意を反映する比例定数を30削減する自民党案を批判しました。

また、政党助成金が政党運営費の7割、8割と依存し、政党の墮落、政治化の劣化を生んでいることを指摘し、「官営政党」を改め、政党助成金を廃止すべきと主張しました。

穀田議員は、民意を正確に反映し、投票価値の平等という問題も解決できる」として「小選挙区制を廃止し、480議席を全国11ブロックの比例代表制にする」日本共産党案を紹介。この案では、ブロック間の最大格差は、1.03倍にとどまります。

【4月9日の予算委員会の速記録（未定稿）を参考にPDFで配信します。総ページ77ページ。穀田議員の質問はPDFの69～73ページです。】

共同センターがリーフレット作成 申し込み受付中

憲法改悪反対共同センターはこのほど、民意を反映する選挙制度実現めざす11団体と共同して「リーフレット」を作成、普及を呼びかけています。読み合わせてミニ学習に、街頭や職場での配布にもってこいの内容と手軽さです。

カラー印刷、8ページの観音開き、はがき大（データは共同センターのホームページに掲載）。1枚2円（送料別）。お申し込みは憲法会議へ。

九条の会が新しいポスター 申し込み受付中

九条の会はこのほど、新しいポスター（データは九条の会のホームページに掲載）を作成し、普及中です。

1枚50円、3枚なら100円（3枚単位で受付けています）。いずれも送料別。憲法会議でも斡旋しています。